



6月議会 一般質問 (6月8日)

若年層の声で

旧ウォーターパークの再生を!

平成16年に休止となっていたウォーターパークの再生が動き出しました。「川で遊べと言ってもたくさん規制がある」「小さな子どもの水遊び場がない」「オートキャンプ場も欲しい」など、この間子育て世代や若者の要望をお聞きしてきました。荒神山懇談会など行われてきましたが、参加されるのは地域の役員をされている高齢の方がほとんど、「その場で若者が声を出せるわけがない!」という声もお聞きしてきました。私は、これから辰野町を担っていく若年層の声を町は聞く機会を作ってきたのか疑問でした。

一人でも多くの町民が主体となって考えて造った「自分たちの公園」「利用したい大事にしたい」施設でなければ再生の意味がない!との思いから、質問をしました。

教育長

現在あるものをどう利用するか、今年9月をPR期間として現地説明会など広く意見を聞いて、年内には取りまとめたい。イベントも模索している。

<http://www.town.tatsuno.lg.jp/waterparkrenobe.html>

↑辰野町荒神山ウォーターパーク活用アンケート

どの子ども安心して利用できる

放課後等の「居場所」の整備を!

現在辰野町内には4ヶ所で学童クラブが実施されているが、「利用者が増え部屋がいっぱいだ」など要望が寄せられています。また今年4月から放課後児童健全育成事業の障害児受入強化推進事業の一部が改正され、3人以上の障害児を受け入れる場合の支援員数の規定が変わったこと。また、障がいのあるお子さんのために「放課後等デイサービス」という支援があるが、受け入れている事業所でも定員いっぱいだと聞いている。子ども一人一人にあった支援ができるよう地域のいたるところで安心して集える「居場所」を作るべきだと考え、特に障害のある子どもの保護者や事業者の声を聞くことが大切だと考え質問しました。

教育長

放課後児童健全育成事業については事業を理解してから考えたい。今後話を聞いていきたい。現在の悩みは支援員の不足。

国連 核兵器禁止条約採択

今年、国連で「核兵器禁止条約」が採択された記念すべき年となりました。待ちに待った条約の採択です。ところが残念なことに、戦争による唯一の被爆国である日本政府はこの会議に参加していません。そんな中、今年も広島・長崎において、原水爆禁止2017年世界大会が8月3日から9日にかけて行われました。

私も以前広島と長崎両会場の大会へ参加し、各地域での核兵器廃絶等の活動を聞き、辰野町でも「平和都市宣言」等の推進を行う事が大切だと考え、一般質問でも取り上げてきました。

今年の広島・長崎両市長の平和宣言に

は「日本政府への訴え」「戦争被爆国である日本こそ、核兵器のない世界を目指してリーダーシップをとるべき」などの訴えが入っています。「安倍首相はどこの国の首相なの?どんな気持ちで平和式典に参加しているの!」との声が辰野町内でも聞かれます。核兵器廃絶への取り組みを首相・政府に求めて行くことが大切だと思います。

そして最も怖いのは「無関心なこと」そして「忘れていくこと」だと思います。辰野町でも今年初めて8/6に「平和のつどい」を町民有志で企画しました。「戦争をしない国」だった日本が「いつか来た道」に歩みを進めようとしています。私たち国民の「不断の努力」を発揮する時です。



町全体で辰野高校存続を!

長野県教育委員会で、この3月3日「学びの改革 基本構想」の名のもと第2期高校再編が打ち出されました。少子化を理由に高校の統廃合や廃校を考える計画となっています。辰野高校も開校当初から、地域の産業の活性化のために開校された学校です。現在に至るまでには、全国的にも先進的な主権者教育として平成7年から「三者協議会」「辰高フォーラム」が開催され、町や商工会と協力し商品開発や店舗活用など行ってきました。全校生徒450人とクラス数の減少と共に生徒数は減ってきていますが、地域とのつながりは強くなって来ているのが現状です。また高校がなくなることは人口減少に大きく拍車をかけようと考えます。辰野町にはなくてはならない高校。子ども達が通いたくなる高校を、町も一緒に町民一丸となった運動をすべきと考え質問しました。

町長

辰野高校は町の歴史そのもの。なくてはならない高校だ。特色のある学校・魅力ある学校・地域に根差した学校をアピールしながら、存続の方策を求めていきたい。

学童クラブ名	登録者数	うち特別学級児童数	全体比	支援員数	障害児対応職員数
辰野西	120	4	3.3%	7	1
辰野東	107	3	2.8%	8	1
辰野南	41	1	2.4%	3	1
両小野	51	2	3.9%	3	1
合計	319	11	3.44%	21	4

町内学童クラブ実施状況 (2017年5月1日現在)

7/3 諏訪市金子ゆかり市長と 期成同盟会が懇談

7月3日湖周行政事務組合副会長であり、金子ゆかり諏訪市長来町。金子市長は「辰野のみなさんの声・気持ち・思いを肌で感じたい」ということで参加したとのあいさつに始まり。各区長さんや同盟会長などの「白紙撤回」への思いを伝え終えた後、金子市長の発言で「諏訪の住民も辰野の住民も同じように困っている」「みなさんの住んでいる地域に最終処分場を作るとして、下流の地域の方に話しますか？」の発言に、参加者から「何言ってる。辰野に押し付ける気か」「そのやり方がおかしいと言っているんだ」などの声が飛びかい。今回は「白紙撤回するしないではなく、ただ辰野町民の意見を諏訪市長が直接聞きに来た」という懇談となりました。私のところへも、平出・沢底そして赤羽・樋口の方から「いつまで同じ事やってるんだ」「運動が前に進まないじゃないか」との厳しいご意見もいただいています。期成同盟会として出来る事、個人として出来る事、仲間と一緒にできることいろいろあると思います。

そこで、「板沢地区最終処分場現地見学会」を女性有志で企画しました。まだまだ、最終処分場のことを知らない方、知っているも場所を知らない方は大勢いると思います。一人でも多くの町民の思いが一つになるよう一つ一つやって行きましょう。



見てみよう！
どんな場所に計画しているの！
板沢地区現地見学会
(湖周行政事務組合 最終処分場計画地)

2017年8月21日(月)8時50分集合
集合場所：赤羽区コミュニティーセンター
日 程：9時 出発 建設予定地見学
10時～11時 期成同盟会役員さんと懇談
(赤羽区コミュニティーセンター)
参加費：無料
 ※現地へは車に乗り合わせて向かいます。
 主催：板沢地区を見学する会 連絡先：090-4926-2130(瀬戸)
 後援：板沢地区最終処分場建設阻止期成同盟会

★8/4 ひだまりのおうち 夏休み企画「カレー会」



ひだまりのおうち
(小学生対象放課後児童預かり)
毎月第1・3木曜日
午後3時～5時
平出 上伊那医療生協辰野支部事務所みどり

聞いて聴いて私の声

お寄せいただいた地域のみなさんの声です！

赤旗でも話題になっている教員の長時間労働ですが、どうにかならないものかと、結婚してからずっと思っていました。旦那だけではなく、大部分の教員が長時間労働の状況なのに、現場の教員は、働きすぎの感覚があまりなく、マヒしているように感じます。学校の規模にもよるかもしれませんが、働き方を改善するためにはどうしたらよいのでしょうか？どこに訴えていけばよいのでしょうか？

周りの人からは高給取りとか、ボーナス出るからいいねとか、安定していいねとか言われることもあり、否定できない部分もありますが、労働時間が半端じゃないし、休日だって仕事しないと間に合わないし、年休とれないし、大変なのです。早く改善しなくてはと思うのです。どうしたものか。

30代女性

8/6 第1回辰野平和のつどい 「はだしのゲン」上映会に60名余の参加！

8/6は広島に原爆が投下された、忘れてはいけない日です。その8/6に戦争について考え、平和を発信するイベントを今年から行っていくことにしました。今後も毎年8/6におこなって行きます。私の実家のある伊那市では、伊那市民による平和イベントが31年間、私が二十歳のころから現在まで続いています。党派や宗教、役職や立場を超え様々な市民による「非核平和都市宣言」をさらにすすめる伊那市民の会が実施しています。辰野町も「平和都市及び核非武装宣言」「平和都市宣言」をしています。私たちも宣言の推進と「子どもたちに核兵器と戦争のない世界を」めざして活動を行っていこうと思います。

一緒に活動していただける個人・団体を募集して行きます。ご一緒に、辰野町から平和を発信して行きましょう！



★7/4 杉尾秀哉緊急国会報告



今後も野党共闘を
より一層進めましょう。